資料２

湖　都　第　４５５　号
令和６年(2024 年)12 月 20 日

行政事務学区統括委員　　様
行 政 事 務 取 扱 委 員　　様

湖南市長　松浦　加代子
（ 公 印 省 略 ）

湖南市公園等ストック再編基本計画の策定について(報告)

平素は、公園行政に格別のご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
さて、標記の件につきまして、公園 の長期的に安定した維持管理 や公園機能を維持していくため、公園ストックの再編基本計画を令和６年９月に策定しましたのでご報告いたします。

問い合わせ先
湖南市都市建設部都市政策課
都市計画係　山川　大槻
ＴＥＬ　７１－２３４８
ＦＡＸ　７２－７９６４
E-MAIL toshisei@city.shiga-konan.lg.jp

湖南市公園等ストック再編基本計画　概要版

湖南市公園等ストック再編基本計画の概要

（１）湖南市公園等ストック再編基本計画の目的

「湖南市公園等ストック再編基本計画」は、人口減少・少子高齢化の進行等に対応した「ずっとここに暮らしたい」と思われる湖南市を実現することを目的とし、自然を生かし、自然と共生するまちづくりの推進が求められている一方、今後の厳しい財政状況および地域における維持管理の担い手不足の中で、公園等の長期的に安定した維持管理や公園機能を維持していくため、概ね 10 年間を目安に、地域のニーズを踏まえた新たな利活用や都市の集約化に対応した公園等ストックの再編の方針を定めたものです。

（２）対象公園等

本計画の対象となる公園等（以下「公園等」という。）は、都市公園 22 箇所、地域ふれあい公園 185 箇所の合計 207 箇所です。

湖南市の公園等の現状と課題

（１）市内の公園等の現状

- ➡ 人口減少・少子高齢化が進展している
- ➡ 公園等は充足状況にある
- ➡ 小規模な公園等が多い／９割が街区公園の敷地面積の標準以下
- ➡ ８割以上が遊び型の公園等／公園等の機能の偏りがある
- ➡ 管理されている公園等が８割近いのに対し、利用されている公園等は６割弱／利用者のニーズとのミスマッチの可能性がある
- ➡ 使用出来ない公園等や目的外利用されている公園等がある

（２）アンケート調査の結果から見た現状

- ➡ 18 歳以上の約６割が公園等をほとんど利用しない
- ➡ 行きたいと思う魅力的な公園等、利用したい遊具・施設がない
- ➡ 約半数が市内の公園等に満足していると回答
- ➡ 公園等で不満なことは「トイレの数・有無」
- ➡ 欲しい公園等、行きたくなる公園等は、「災害時に避難できる公園」、「ウォーキングコースやストレッチ器具等のフィットネス機能が充実した公園」、「子ども向け遊具が充実した公園」（多様なニーズ）
- ➡ 公園の量にはおおむね満足しており、現在ある公園の質の向上や、適切な維持管理が求められている
- ➡ 公園等の管理活動には、８割近くが「参加したくない」
- ➡ 年に数回であれば、「草刈・除草」や、「ゴミ拾い」等の管理活動には参加できる可能性がある

（３）公園等の再編に関する課題

ア．必要性	→社会の変化や地域のニーズに沿った、公園等の機能の再編 →公園等の統廃合
イ．継続性	→長寿命化計画による適切な維持管理や公園等の設備の更新 →トイレの設置・再整備の検討
ウ．効率性	→市民と連携した公園等の利用促進 →パートナーシップによる効率的な維持管理の推進

公園等の再編に向けて

（１）基本コンセプト

「ずっとここに暮らしたい」まちづくりと連動した

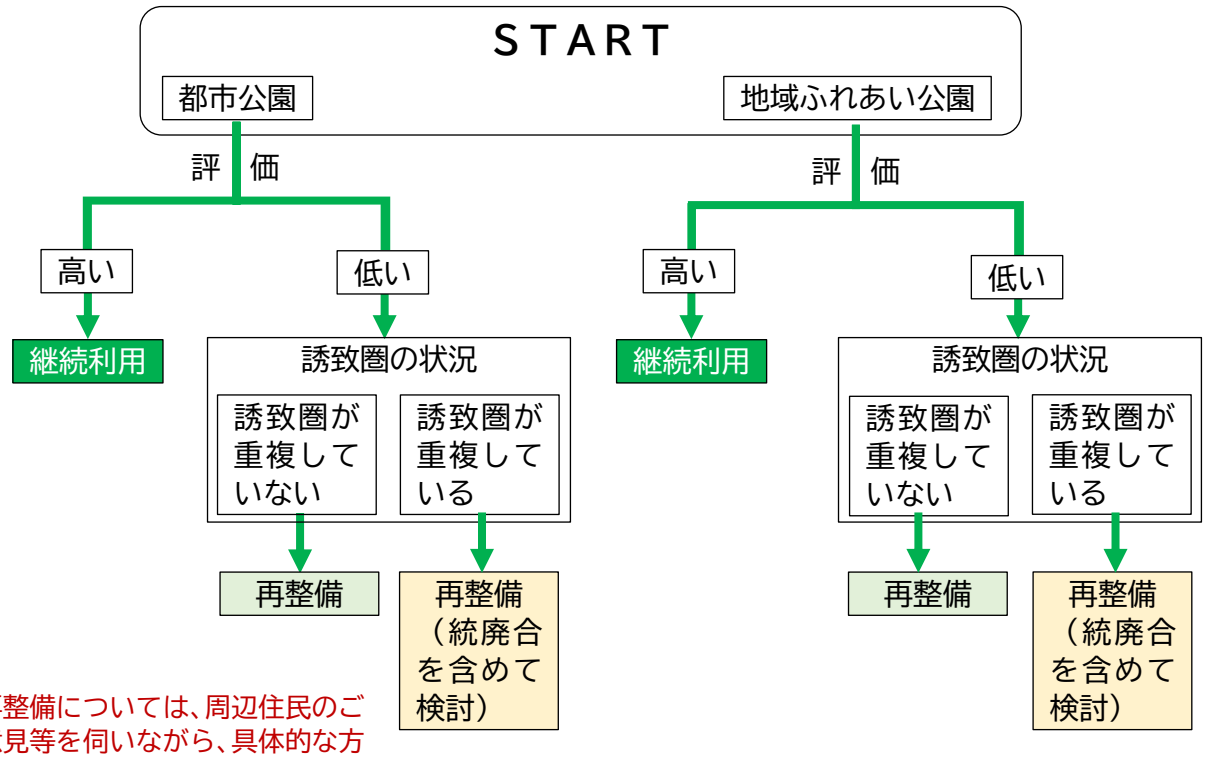
「使われ活きる公園等」の実現

（２）公園の再編に向けた評価の考え方（評価の視点）

視点１	視点２	視点３	視点４	視点５
地域の公園等の充足状況	経過年数からの確認	管理状況評価	利用の状況評価	市民からの評価

（３）再編の方向性

個々の公園等の再編等に向けた評価（判定）を踏まえ、再編の候補となる公園等を以下のフローを用いて判定します。



再整備については、周辺住民のご意見等を伺いながら、具体的な方向性を検討していきます

公園再編アクションプラン

本市のすべての公園等が「使われ活きる公園」となることを目指し、以下の取組を推進します。

① 「個々の公園等の再編に向けた評価」を元に公園等の再編を進め、ストック効果の向上を図ります。

② 公園施設等の更新や公園等の再整備を行う場合は、維持管理費の低減に取り組みます。

③ グリーンインフラとしての保全・利活用を図るため、グリーンインフラを導入した緑の基本計画（公園の整備・管理方針を含む）の策定に取り組みます。

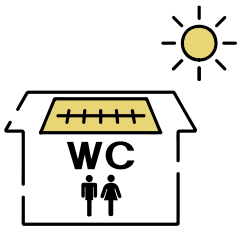
④ 多様化する利活用ニーズに応え、公園を市民交流やふれあいの場として、積極的に活用するため、公園の特性等に応じた利用ルールの弾力化、新たな可能性を探る実験的な利活用の推進など、公園を使いこなす仕組みを検討します。

⑤ 災害発生時の利活用に配慮し、避難場所となる公園等の整備に取り組みます。

⑥ 地域との連携等に留意しながら、多様な主体の参画を促し、清潔かつ安全で、安定的な管理運営体制づくりに取り組みます。

公園等の維持管理費の低減に向けた取組

公園等の維持管理費の低減に向けて、以下の取組を推進します。



◆湖南市公園施設長寿命化計画の推進

◆公園施設等のメンテナンスやエネルギー効率の改善

◆持続可能なランドスケープデザイン

◆企業や個人の地域・社会貢献活動や寄付の活用

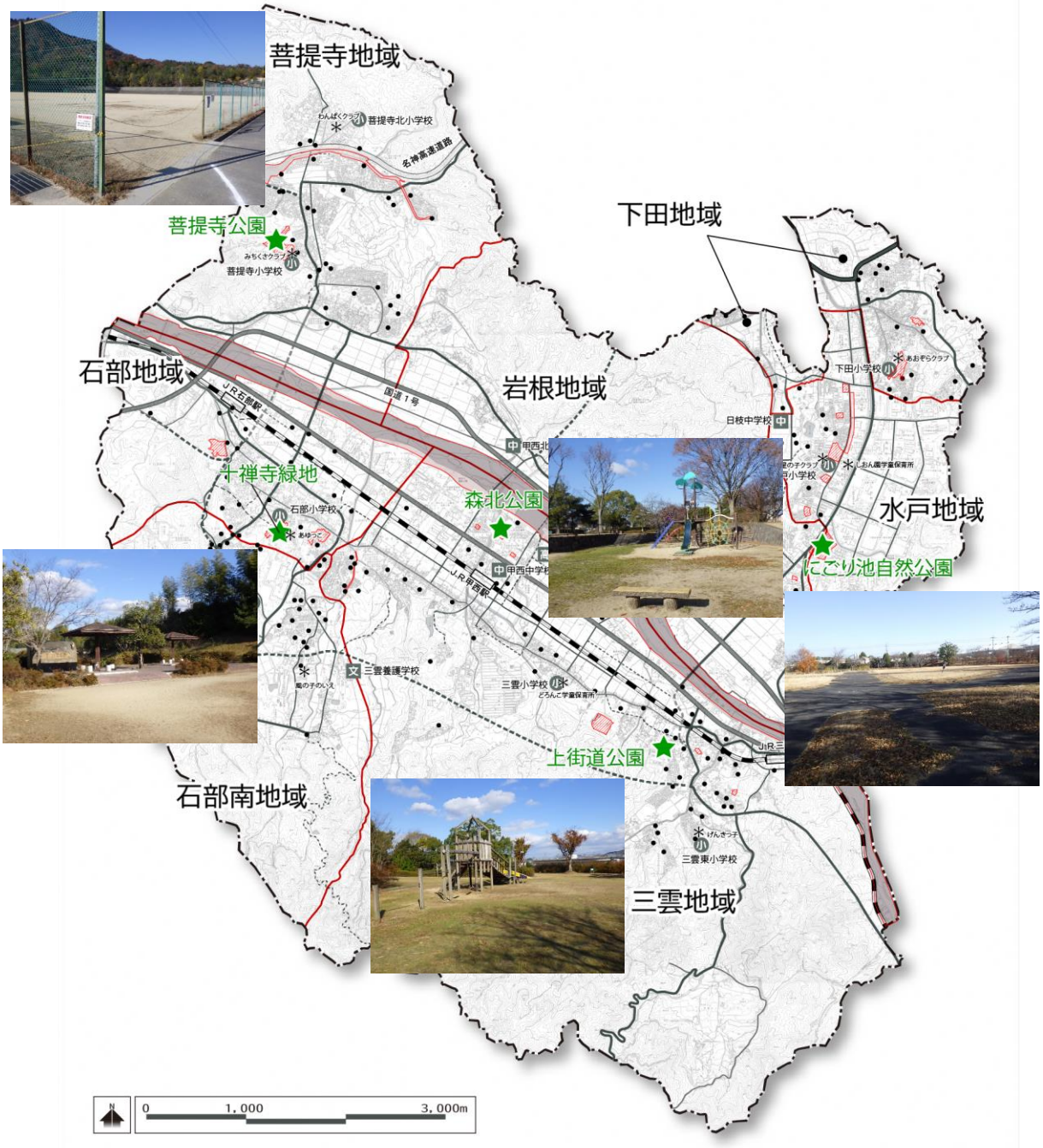
◆様々な担い手による維持管理の実施

◆指定管理者制度や公募設置管理制度（Park-PFI）の活用の検討

◆有効な財源の活用

拠点となる公園等の再編の方向性

市内全域をカバーできるような地理的条件、住民参画や民間活力を利用した管理・運営ができる可能性があること（既に地元区やまちづくり協議会に除草等公園全般の日常管理を委託している都市公園は除外）、公園周辺で宅地開発が行われており、利用者の増加が見込まれること、公園周辺に公共施設等があり、連携が可能であること等から、以下の５つの公園等を「拠点となる公園等」として位置付け、それぞれの再編の方向性を検討します。



種類	公園名	再編の方向性
地区公園	菩提寺公園	**➡自然・環境型の休憩施設や修景施設等の充実に資する再整備を図ることで、利用状況の改善を促します**
近隣公園	森北公園	**➡子どもたちの遊びや健康に寄与する施設の導入等、多様な利用者のニーズに応える施設の導入により、利用状況の改善を促します**
	にごり池自然公園	**➡子どもたちの遊びや住民や周辺の企業で働く人の健康に寄与する施設の導入等、多様な利用者のニーズに応える施設の導入により、多文化、多世代が交流できる公園づくりに取り組みます**
街区公園	上街道公園	**➡子どもたちの遊びや健康に寄与する施設の導入等、多様な利用者のニーズに応える施設の導入により、利用状況の改善を促します**
緑　　地	十禅寺緑地	**➡子どもたちの遊びに寄与する施設の更新や充実、トイレの更新等により、さらなる利用を促します**

参考：**アンケート調査の概要**

調査概要	アンケート調査の対象の方		
	一般	学童保護者	小学６年生
実施期間	令和６（2024）年１月11日（木）～１月29日（月）		
調査方法	発送は郵送、回答は郵送およびＷＥＢ回答		発送、回答ともにＷＥＢ
配布数	1,000件	837件	505件
回収率	36.4%	33.1%	77.2%

計画はQRコードで見ることができます